

男女共同参画の視点から「輝くひと」取材!

きらり

第32回

みんなのこころ

訪問美容の『uranchi』を夫婦で経営。5人の子どもを育てながら、仕事そして家庭の時間をともに過ごすお二人。その働き方や家庭の在り方を取材しました。

うら ひろえ
浦 裕恵さん



ともひろ
智宏さん



訪問美容をはじめたきっかけ

裕恵さん 私が大隅町出身で、二人とも大阪のサロンで働いていました。令和2年に帰ってきてサロンを開こうとしましたが、新型コロナウイルスの流行中で開業が難しい時期でした。そんな時に介護施設の方から「入居者の髪を切つて」と頼まれ、初めて訪問美容をしました。すると髪を切つた方が「ありがとう、ありがとう」と言ってくれて感謝してくれました。これからは求められるところに行くことが大切だと考えて、令和3年に訪問美容を開業しました。

智宏さん 訪問するのは介護施設や障がい者施設、お家で介護をされている方の所です。「わざわざ来てくださってありがとうございます」など、自分達を必要としてくれる声がとても嬉しく思います。カットしなくてもuranchiや訪問美容のサービスを知らず、困っている方が多いので、お悩みを解決して、キレイになって喜んでいただきたいと思います。

仕事と家庭の両立について

裕恵さん 朝早く家を出るときは、夫が先に行つて、私は子ども達のことをしてから家を出ます。子どもが熱を出

たときは夫一人で仕事へ行って対応してくれています。

智宏さん 事前に何名カットするか分かってるので、スケジュールが立てやすいです。家のことがなければ2〜3軒回ることもあります。反対に子どもの習い事、学校行事などがあればお昼から訪問することもあります。キャンセルや予定より早く終わって、空きが出た時は、他の施設を前倒しで訪問することもあります。施設の方も私達が5人の子どもの子育て中ということを理解してくださっていて、お互いに調整しながら訪問させてもらっています。

お互いの過ごしやすいためのにしていることは

智宏さん 夫婦内のルールや役割分担はありませんが、たまに夫婦でランチをしたり、夫婦の時間を大事にしています。
裕恵さん 訪問の行き帰りの移動時間や家で、よくしゃべっています。内容は仕事の状況や子ども達のことなど。話す時間が長いから何でも分かります。かかっているのかなと思います。

今後の目標は

裕恵さん 自宅の一角にサロ

ンを開く計画で、訪問だけでなく、たくさんの方のきれいになりたい、ゆっくり過ごしたいを叶える場所作りをしていきたいです。



お客さんから要望を聞いて、会話をしながら切るというお二人。髪型だけではなく、心も綺麗に明るくする素晴らしいお仕事をされていました。

【今回取材した

県男女共同参画地域推進員】

- ・島子正一郎
- ・末永順子
- ・牧之瀬千保子
- ・永山育美
- ・脇俊子

【訪問美容 uranchi】

住所 大隅町月野
電話 0900-8657-9292